

予算の中で希望がうまく叶えられた間取り。  
優しさを感じるスタッフの対応に安心感を覚えた。



# Come Home Story

ご入居後の  
お宅訪問  
No.021  
カムホームストーリー  
高知市・Kさん家  
竣工:2011年8月  
設計担当:福井 美絵



## 「スタッフさんの優しさが…」

お子さんが生まれ、賃貸住宅の契約更新を前に、そろそろ家とを考えはじめたのがはじまりでした。モデルハウスを巡りながら、「現実と離れすぎていて参考にならなかった」と住みたい家が見つからなかったKさまご夫妻。広告でタイセイホームの見学会を知り、足を運びました。「モデルハウスはありきたりのイメージだったけど、手づくりの感じが初めてでした」と旦那さま。「あったかい感じで、すごく素敵だと思いました」と、奥さまも心が動きました。スタッフの対応も良く、「すごく熱心でした」と話すお客さまサポーターの岡村が資金のことも相談に乗ってくれたと、初めての家づくりには心強い存在でした。話を聞くにつれ、施主の要望をしっかりと聞いてくれそうだと感じたこと、優しさを感じるスタッフの対応に安心感を覚えたことから、Kさまの家づくりがはじまりました。

## 「オーバーしそうな時はストップしてくれました」

家づくりは、特に間取りや動線を考えるのが楽しかったと旦那さま。「使いたい家具があれば測ってきて」と言われ、賃貸から持ち込む食器棚や大物の電気製品などの寸法をすべて測りました。それらが図面にピッタリと当てはめられ、「この収納ですごく助かってます」と満足気の奥さま。洗面脱衣には着替えやタオルをすぐ取れてすぐに収めるオープン収納棚、トイレには予備のトイレトーパーが常備できる収納スペースを。欲しいと思ったところにつくりつけできるのがオーダーのうれしいところだと話します。「洗濯物はすべて1階で」というKさまのお宅では、脱衣室から一直線に繋がるウッドデッキが大活躍。日当たりも良くすぐに乾く衣類はそのままリビングで畳まれ、すぐ横のクローゼットへと収納される動線です。奥さまのアイデアでキッチンカウンター下はたっぷりしまえる収納棚をつくり、お子さんの大好きな絵本もすぐ手が届く環境に。あほしい、こうしたいという理想を伝えつつも、「オーバーしそうな時はストップしてくれた」と、いらぬものは削り予算の中で希望がうまく叶えられた間取りのKさま邸です。

## 「息子と思いきり遊べるようになりました」

「できあがった料理をすぐに配膳できるように」と話す奥さまは、中へ外へとぐるぐる動かなくてはならないことを考え、あえてダイニングテーブルを向かい側ではなく横に配置しました。キッチンカウンターの内側にはコンセントを設け、コードが伸びて邪魔になることもなく「器具がラクに使えます」と動きやすいキッチンが実現。知人にコンセントはとれるだけとっておいたほうがいいよとアドバイスを受けたことから、「ここにあって良かったと思うことが多いです」「細かいこともケチらず先のことまで考えて最初にやったほうがいい」とKさまご夫妻。おかげで奥さまは、「お料理やお菓子づくりがラクで楽しくなりました」とうれしい思いいっぱいです。キッチンからはリビングと旦那さまこだわりの和室を眺めることができ、家族といつもつながっていられる幸せな空間が広がります。以前の賃貸暮らしとは一変、一軒家を持つことで周り近所に気を使うこともなくなり、「息子と思いきり遊べるようになりました」とうれしそうな笑顔を見せる旦那さま。今しか味わうことのできない我が子との時間を、これからもこの家といっしょに重ねていくのが楽しみなKさまご一家です。

